

家庭教育支援だより

《家庭教育サポート企業の取組》日高管内発

車を通した地域のつながりづくり～有限会社橋本興業の「チルフェス」～



「チルフェス」の会場の様子

新ひだか町の有限会社橋本興業では、平成 29 年に北海道家庭教育サポート企業等制度に登録し、これまで、職場体験の受入れや「道民家庭の日」の普及などに取り組んできました。

平成 28 年から毎年、会社の敷地にて「チルフェス (Children's Festival)」を開催し、地域の子どもたちが自動車、モータースポーツに触れる場や宝探しゲームなどを社員総出で提供し、体験活動の機会を設けるとともに、社員とのふれあいの場づくりを行っています。

また、同社の運営するカフェ・ショップ「ぼると・みついし」を拠点として星空鑑賞や海釣り等、自然体験活動を始めるきっかけとなる「みつぼし体験」メニューを継続的に提供し、地域における家庭教育支援の一端を担っています。



ゴーカート試乗で参加者と交流する様子

《子どものスポーツ・文化活動での活躍》胆振管内発

安平町「NPO 法人アビースポーツクラブ」について

「NPO 法人アビースポーツクラブ(以下、アビー)」は平成 31 年 1 月に設立された安平町総合型地域スポーツクラブで、町内外およそ 400 名の子どもたちが所属しています。町内ほぼ全ての部活動をアビー所属のクラブチームが受け入れ、平日の活動も含めた「部活動地域展開の完全実施」を実現しました。

アビーが企画する事業の中心には、常に子どもたちの活躍する姿があります。「スポーツアートチャレンジデー」では、子どもたちがクラブチームの体験ブースを運営して来場者を楽しませた他、「アビーマツリ」では各クラブチームの垣根を越え、赤青 2 つのチームに分かれて大縄跳びや十字綱引きなどを行い、アビーに所属する団員や指導者が一つになって交流を楽しんでいました。

アビーの鳥實クラブマネジャーは「子どもたちの夢をかなえる事業を行いたい」と今後に向けた意気込みを語り、子どもたちの更なる活躍に期待を寄せていました。



スポーツアートチャレンジデーに参加した皆さん

《地域での運動習慣定着に関する取組》 檜山管内発

上ノ国町「カムカムクラブ」について

上ノ国町教育委員会では令和5年度から小学1年生から6年生を対象に「カムカムクラブ」を開設しています。上ノ国町総合福祉センター「ジョイ・じょぐら」を中心に、地域の各施設を会場にモルック・英会話・茶道など地域の特性を活かした多彩なプログラムが提供されています。

参加した子ども達からは「初めてモルックをやってみたけど簡単だつた」「友達と仲良く楽しくできた」などの声があり、活動を通じての成長や楽しさが報告されています。また、連携・協力した地域住民からは、「子どもたちの元気な姿を見て喜んで嬉しい」「子どもたちと関わるきっかけができて元気をもらえた」など、温かい声が寄せられています。

令和8年度以降も、プログラムの内容や運営方法を柔軟に見直しながら、地域の特性を活かしたプログラムの充実を図り、子どもたちの健全な成長を支援していきます。



モルックに取り組む参加者の皆さん

《親子で参加可能なイベントの報告・お知らせ》 渡島管内発

「親子のふれあう機会を、ネイパルで！」～自然体験活動から共に学ぶ～



草木染めの完成度の高さ
を喜ぶ家族

道立青少年体験活動支援施設ネイパル森では、親子で参加できる主催事業を数多く実施しています。10月に開催した「秋、み~つけ」では、さつまいもの収穫をメインの活動とし、秋ならではの体験活動で親子の触れ合いを深めました。

事業では、“薪割り”や“落ち葉拾い”、木の実や葉っぱを使った“草木染め”、農場での“さつまいも掘り”、落ち葉や薪を使った“焼きいもづくり”などに親子で挑戦しました。

参加者からは「自分たちで掘ったさつまいもで焼きいもを作った経験は、食育としても良かった。」「自然体験に沢山取り組むことができ、最高のイベントだった。」などの感想が寄せられました。

ネイパル森では、今後もクリスマスや冬の雪遊びをテーマとした、子どもや親子を対象とした主催事業を開催するなど、家庭教育を支援する取組を展開していきます。



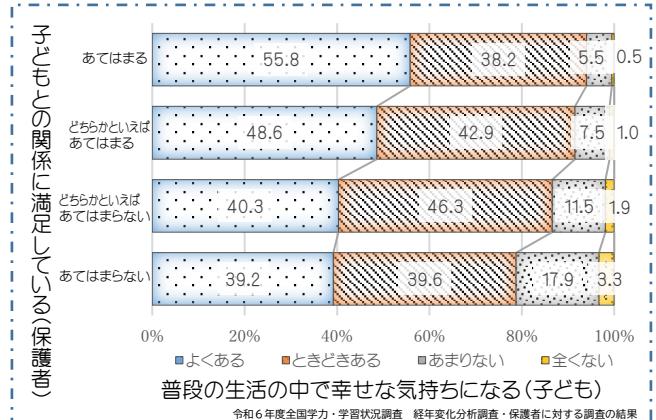
ネイパル森 HP



さつまいもを手
にする参加者

親子の幸せを、地域みんなで支える

文部科学省の調査から、保護者が子育てを前向きに捉え、子どもとの関係に満足している家庭ほど、子ども自身も「幸せな気持ちになる」「自分には良いところがある」と幸福感や自己肯定感を持ちやすい傾向があることがわかりました。親子で学校生活や将来について日常的に語り合うことが、子どもの心の安定を生んでいます。国では、生活習慣の定着や保護者支援の取組、教育環境の充実を進めており、家庭・学校・地域・企業が連携して家庭を支え、子どもの幸せを育むことが、地域社会の活力につながります。



【発行元】北海道教育厅生涯学習推進局社会教育課

電話 : 011-204-5994

メール : kyoiku.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp

HP : <https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/support-kigyo.html>

